

大賞

秋穂漁港と秋の雲 牧 徹 様



撮影場所

秋穂 秋穂漁港

応募者のコメント

すじ雲が流れる秋空の下、漁船が出漁の時を待っています。広い空と豊穡の海、秋穂を代表する風景です。

景観審議会のコメント

広大な青い空に広がる白いすじ雲とのコントラストに目を奪われるだけでなく、それらが漁船とともに水面に映りこむ姿を絶妙なバランスで同時に捉えた一枚です。漁船が出港を待つ姿は、秋穂だけでなく山口の原風景として、胸を張って自慢できる景観であり、未来に伝えていきたい景色です。

入賞 陽挟み（ヒバサミ） 重村 哲雄 様



撮影場所

周防大橋

応募者のコメント

山口南部の代表的景観ですが、夕方の太陽が主塔に挟まれる瞬間を待って撮影しました。

景観審議会のコメント

カメラを構え、日が落ちる瞬間を待ち続け、一瞬を切り取った、写真に対する情熱を感じる作品です。普段、車で通過するだけになりがちな周防大橋ですが、このような、楽しみ方、絶景があるということを改めて多くの人に気づかせてくれます。

入賞 秋雲 重村 哲雄 様



撮影場所

一の坂川交通交流広場

応募者のコメント

あまり有効利用されているとは思えなかった市営駐車場が噴水公園になり、連日子供たちは大はしゃぎです。騒ぎの収まった秋の夕暮れを撮影しました。

景観審議会のコメント

平成27年5月にオープンした「一の坂川交通交流広場」は、子供たちの声で賑わいを見せていますが、日が落ちるとまた違った雰囲気を漂わせます。広場を包むような柔らかな夕日やサビエル記念聖堂が広場の存在を引き立たせ、山口市の新たな景観として広く伝えたい一枚となっています。

入賞 冬の塔 石崎 哲夫 様



撮影場所

瑠璃光寺五重塔

応募者のコメント

五重塔には雪が似合う。しかし近年降雪はめっきり少なくなった。元日はほどよい積雪となった。モノトーンの風景に歴史を観ずる。

景観審議会のコメント

山口を代表する歴史的建造物である「五重塔」は、四季折々、様々な姿を見せて楽しませてくれます。そんな、「五重塔」が雪にうっすら包まれ、静まり返っている姿は、私たちに落ち着きを与えてくれ、長い歴史の証人としてたたずむ姿からは偉大さを感じます。

入賞 秋穂青江湾から望む浮島現象とヒヨドリの渡り 牧 徹 様



撮影場所

秋穂 青江湾

応募者のコメント

青江湾では、秋から冬にかけての冷え込んだ日には蜃気楼の一種の浮島現象を観測することができます。画像の浮島は姫島で、この日は運良くもう一つの秋の風物詩であるヒヨドリの渡りとの共演を撮ることができました。

景観審議会のコメント

ヒヨドリが水面ぎりぎりを低空飛行している姿から視線を上げると、姫島が浮かんでいて驚く作品です。このような現象を見ることができることを、どれだけの人が知っているのでしょうか。真っ直ぐ進んだ先にあの島はあるのか疑ってしまいそうになる幻想的な風景です。

入賞 船平山 山下 昱子 様



撮影場所

阿東 船平山

応募者のコメント

ゆうすげの咲く頃、毎年のように訪れている。ゆうすげ祭りの前、ゆうすげの丘は梅雨明けを告げるがごとく爽やかでした。里から少し登っただけでこんなに素晴らしい高原があるなんて・・・。

景観審議会のコメント

山口市は、山に囲まれておりいつも身近に自然があるので見逃しがちですが、足元に咲く花に目を向けると自然の美しさを感じることができます。この作品は、立ち止まってゆっくり眺めることで、いつもと違う新たな景色を発見できるという、山口市にある資源を再発見するためのヒントを伝えている気がします。

入賞 夏の夜の思い出づくり 熊丸 隆 様



撮影場所

後河原

応募者のコメント

真夏のこの夜、ミニちょうちんツリーが点灯し、足もとと噴水に各色ライトがあたり、子供達のはしゃぎまわる広場。暑さを忘れさせてくれます。

景観審議会のコメント

山口市の古くからあるちょうちんと新しくオープンした一の坂川交通交流広場の噴水とのコラボレーションは新しい夏の風物詩となることを予感させ、新たな山口の一面を切り取った情緒ある一枚です。噴水の中に入った子供たちのはしゃぐ声が聞こえてきそうな場面です。

入賞 錦秋のパークロード

岡本 公一 様

撮影場所

県庁15階から

応募者のコメント

山口市市民にとってもパークロードはなじみの場所です。県内外から訪れる方達にもいやしの場所です。全国道の百選を多くの人に見てほしいです。

景観審議会のコメント

緩やかなS字カーブが紅葉した木々に動きを与え、きれいに色づいた赤と黄色のコントラストは、季節を感じさせます。S字カーブの先に何が待っているのか、わくわくする一枚です。

